

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・月初めはあまり忙しくなかったが、20日過ぎぐらいから、送別会や退職祝い向けの花の需要が増え、例年並みの売上を維持できた。同業者に聞いても、同様の傾向であった。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・歓送迎会やお花見の需要が思ったより多かった。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・毎月、徐々にではあるが、売上、客単価、買上点数とも伸びている。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・売上は先月と変わらないが、単価が高くと、品質が良いものや客の好みに合う商品が売れている。
		家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・販売量、来客数は前年並みにとどまっているが、テレビ、DVD等のデジタル商品の売行きが好調で、客単価が少し上昇している。
		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・5、6月の団体旅行の受注が順調である。また、ここ1年はほとんどなかった海外への団体旅行もみられ始めた。
		タクシー運転手	お客様の様子	・3か月前と比較すると、歓送迎会等のグループ客が増加した。単価も少し良くなっている。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・販売量は3か月前もやや上向き基調にあったが、今月はそれより更に上昇傾向が強くなっている。
	変わらない	商店街（代表者）	それ以外	・都市部では、長年日本経済を苦しめてきたデフレ経済が終えんしつつあるが、地方都市には、まだまだ波及してない。日本経済全体が立ち直りを見せたのではなく、大都市と地方という二極化の時代に入った感がある。
		百貨店（総務担当）	お客様の様子	・プライダルのリクルート関係も以前のように、その時期にしか着ないものではなく、普段にも着られるような商品を選ぶ客が多い。こうした様子からも消費者の節約志向がうかがえる。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・卒業・入学シーズンで、マザーニーズのスーツ、ジャケットに動きがある。また、ヤング衣料もカラフルなスプリングコートが好調である。こうした重衣料の伸びにより1品単価、客単価は上昇しているが、全体としては売上増につながっていない。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車の販売台数が伸びない。
		乗用車販売店（管理担当）	販売量の動き	・3月期末であるにもかかわらず、販売台数確保に苦労している。
		スナック（経営者）	単価の動き	・注文は一部の高額なものと安いものとの両極端で、この傾向に変化はみられない。
		観光型旅館（経営者）	単価の動き	・宿泊客が消費する食事や飲み物の単価が伸びない。客は宿泊以外でお金を使うという雰囲気にはまだなっていない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・歓送迎会の時期であるが、昨年、一昨年と比較すると、乗車客はかなり低下している。
	その他〔不動産〕（経営者）	販売量の動き	・住宅用地の値下がりもあり、取引自体は決して低調でない。しかし、好調と言えるほど活発でもない。	
	やや悪く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・春休みになっても、来客数、来街者数の低下は顕著である。大変厳しい状況が続いている。
		一般小売店〔菓子〕（販売担当）	販売量の動き	・今月はホワイトデーの売上を期待したが、不調であった。1か月を通して悪い状態が続いている。
百貨店（営業担当）		それ以外	・ファッション関連商品が苦戦し、ブランド商品群も前年を割り込んでいる。全体の売上も前年実績を下回っており、総じて低調な状況である。	
スーパー（財務担当）		販売量の動き	・売上高前年比を3か月前と比較すると、103.4%から98.7%へと、4.7ポイント悪化している。	
	家電量販店（店長）	販売量の動き	・シングル需要で盛り上がる時期であるが、数量、単価ともに前年を下回っている。	

	悪く なっている	百貨店（売場主 任）	来客数の動き	・春になり衣替えのシーズンを迎えたが、固定客の来店が少ない上、一般客もスーツを始め、ビジネス関連商品に対する購買意欲が低く、非常に厳しい状況である。
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	化学工業（販売 担当）	受注量や販売量 の動き	・全般的に、需要量は上昇傾向にあり、稼働率も順調に推移している。
		電気機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・各企業からの設備投資等の受注が多く、従業員をどのように配置するか悩むほど忙しい状態にある。
		輸送業（総務担 当）	受注量や販売量 の動き	・貨物の動きが良くなっている。
		公認会計士	取引先の様子	・取引先からの経営相談の内容が、ビルやマンションを建設するといった前向きな設備投資の相談が増加してきた。一方、これまでのように物を売却して、借入金の返済をするといった相談が減少している。
	変わらない	一般機械器具製 造業（経理担 当）	受注量や販売量 の動き	・ユーザーの外部環境は依然として厳しく、廃業宣言するユーザーと、機械の老朽化や排ガス規制によって機械を代替するユーザーがあり、勝ち組、負け組がはっきり分かれてきている。
		電気機械器具製 造業（経営者）	受注価格や販売 価格の動き	・受注価格の単価が、3か月前と比較すると、かなり低下しており、景気は良くなっているという感はない。
		金融業（融資担 当）	取引先の様子	・一部、製造業で受注の改善はみられているが、県内の主要産業である公共土木工事、建設業及び小売業等では、厳しい状況が続いている。
		広告代理店（経 営者）	受注量や販売量 の動き	・年初には多少明るい兆しがみえていた広告出稿は、ちょうど契約更改の時期とも重なり、マスメディアを含め全体的に低調である。特に不動産、住宅関連は、広告予算半減という話まで聞く状態である。
	やや悪く なっている	パルプ・紙・紙 加工品製造業 （経営者）	受注量や販売量 の動き	・例年、3月は受注が増加するが、今年度はあまり増加しなかった。
建設業（総務担 当）		それ以外	・県都中心部でマンション建設が続いているが、地区によっては売れ残りが発生している。	
	悪く なっている	-	-	-
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	人材派遣会社 （支店長）	求人数の動き	・企業の業界、業態により違いはあるが、全体としては採用や求人数の動きは大きく上昇している。特に、求人数の伸びは前年比20%増で推移をしている。
		求人情報誌製作 会社（編集者）	それ以外	・即戦力を採用したいというニーズが高まっており、そうした人材確保のための企業ホームページ整備やパンフレット改訂等の受注が非常に増えている。
		職業安定所（職 員）	求人数の動き	・新規求人数は、サービス業からの大口求人があったことにより、6か月連続して昨年を上回っている。
	変わらない	職業安定所（職 員）	雇用形態の様子	・求人はやや増加傾向となっているが、増加分については、引き続き派遣業、業務請負業等での求人であり、正社員の求人の動きがみられない。
		職業安定所（職 員）	求人数の動き	・パートを含む新規求人は6か月連続で前年比増となった。特に卸小売業で2割台の大幅増となったが、半分がパート求人となっている。また、派遣や請負の求人も増加している。
	やや悪く なっている	-	-	-
悪く なっている	-	-	-	